

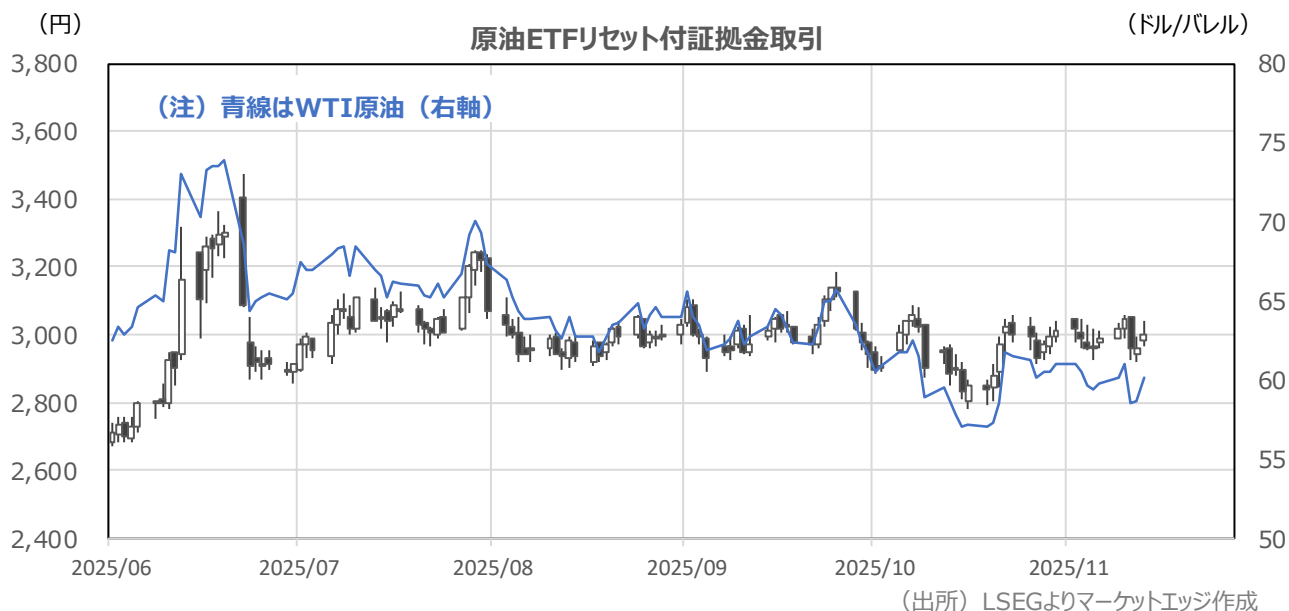
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/11/17号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 60ドル割れを巡る攻防が続く

NY原油先物相場は、1バレル=60ドルの節目を挟んで上値が重い展開となった。国際原油需給の緩和評価を背景とした戻り売り圧力が強く、11月13日の安値は58.71ドルとなった。石油輸出国機構

(OPEC) と国際エネルギー機関 (IEA) の月報で需給緩和見通しが示されたこともあり、10月22日以来の安値を更新した。しかし、週末を前にウクライナ軍がロシアの石油輸出港ノボロシスクを攻撃し、原油輸出に混乱が報告されると、60ドル台まで切り返した。結果的に上値は重い、明確なトレンドを形成できない状況が続いている。

IEAが11月13日に月報を発表したが、10～12月期は世界の石油需要が7～9月期に対して鈍化する一方、石油輸出国機構 (OPEC) プラスなどの増産が続くことで、市場バランスの不均衡 (= 供給過剰) がさらに深刻化するとの見通しが示された。11月21日に米国の対ロシア制裁が発動することに対して注意喚起が行われるも、2026年に向けて供給過剰が続くとの見方が再確認されている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (11月7日時点) は、原油が前週比641万バレル増、ガソリンが95万バレル減、石油精製品が64万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 【展望】

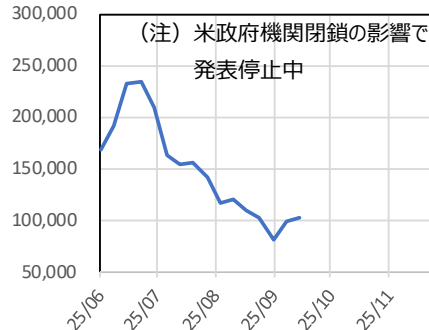
### 60ドル割れ定着を打診する展開が続く

供給過剰見通しを背景に戻り売り優勢の展開が続く見通し。前週は国際エネルギー機関（IEA）の月報で供給過剰見通しが再確認され、さらに石油輸出国機構（OPEC）の月報でも従来の供給不足見通しから若干の供給過剰見通しに修正が行われている。こうしたマクロ需給見通しに大きな修正を迫ることは難しい以上、価格リスクは引き続き下向きになる。徐々に60ドル割れの取引時間が増えているが、当面は米欧のロシア制裁が発表される前の56～58ドル水準が目標となる見通し。

引き続きロシア産原油の供給環境には注意が必要。ロシアからの出荷に大きな混乱は生じていない模様だが、中国、インド、トルコなどは米欧の二次制裁のリスクからロシア産原油の取引に慎重姿勢を強めている。その結果、洋上在庫の急増が報告されており、供給リスクが意識されると、持高調整で62ドル水準まで切り返すリスクがある。米国の制裁は11月21日に発効予定であり、供給リスクの織り込みには注意が必要。また、14日にはウクライナ軍の攻撃でロシア産原油の供給に混乱が報告されているが、さらに大きな供給障害が発生した際にも、買いが膨らみやすくなる。ウクライナとロシアは、互いにエネルギー関連施設に対する攻撃を繰り返しているが、主要な原油輸出ターミナル、貯蔵庫、製油所などが攻撃を受けるリスクがある。

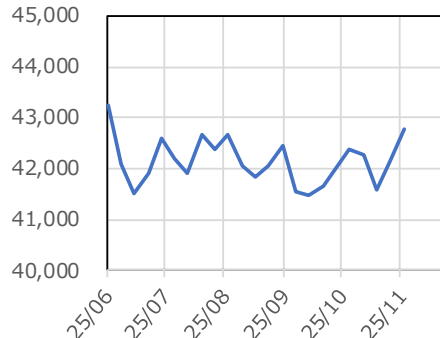
一方、サウジアラビアのサルマン皇太子が11月18日にホワイトハウスを訪問し、トランプ米大統領と会談する予定だ。ここでサウジアラビアが増産に積極姿勢を見せるような、原油安をイメージさせる動きがみられた際にも、原油相場の下振れリスクが高まる可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



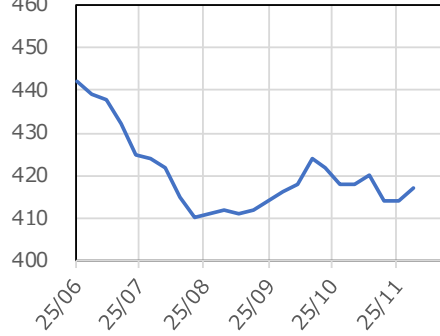
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 [info@markededge.co.jp](mailto:info@markededge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

